

2024. 10. 23

報道関係者 各位

< 配信枚数 6 枚 >

海外 20 カ国・地域から約 200 人の高校生・教員が立命館に集結
国内最大規模の高校生国際科学フェア
「Japan Super Science Fair 2024」を開催
～科学・技術をテーマに英語で研究発表やワークショップを実施～

立命館高等学校(京都府長岡京市、校長:東谷保裕)は、11月2日(土)から6日(水)にかけて、立命館中学校・高等学校(京都府長岡京市)、立命館大学大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)、および京都市内において、国内最大規模の高校生国際サイエンス・フェア「Japan Super Science Fair 2024」(以下、JSSF2024)を開催します。本イベントでは、世界 20 カ国・地域の海外理数教育重点校から約 130 名の高校生が来日し、国内からは約 130 名の高校生が参加し、科学・技術をテーマに英語で研究発表やワークショップを実施します。また、立命館大学宇宙地球探査研究センター(ESEC)の佐伯和人センター長より、高校生に向けて宇宙科学についての講演も実施します。



立命館高等学校は、2003年から同イベントを継続して開催しており、今年で22回目を迎えます。今年度は、教員向けの企画として「国際科学教育フォーラム」も同時開催いたします。このフォーラムでは、世界のトップ科学学校のカリキュラムや、特徴的な教育方法の紹介を行います。

地球規模の問題が深刻さを増すなか、問題を解決するための科学・技術の発展に加え、国境を越えて協力関係を作りながら研究を進められる科学者の育成が急務となっています。本校では、生徒自身の英語運用能力伸長に向けての意識を高めることが科学教育においても重要な課題と認識しており、科学教育に加え、“海外の生徒と科学研究活動を共同で行えるレベル”の英語教育の充実にも取り組んできました。JSSF2024では、参加高校生による課題研究発表に加え、学校や国を超えたチームでグループワークに取り組み、多様な科学・技術のテーマ課題に挑戦します。

記

日時：2024年11月2日(土)～11月6日(水)

場所：立命館中学校・高等学校(京都府長岡京市)

立命館大学大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)他、京都市内での校外学習

取材：取材をご希望の方は、11月1日(金)正午までに以下の連絡先にご連絡ください。

11月2日(土)開会式後は教員や参加者等へのインタビューの設定も対応可能です。

以上

本リリースの配布先: 京都教育記者クラブ、京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先

学校法人立命館広報課 担当: 勝屋 TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsume.ac.jp

1. 『Japan Super Science Fair』とは

立命館高等学校が主催する国内最大級の国際科学フェア。毎年、世界約 20 カ国・地域の海外理数教育重点高校や国内スーパーサイエンスハイスクールを中心に、優れた理数教育を実践している高等学校から 200 人を超える生徒が集い、5 日間にわたりさまざまな企画を通して交流を行う。

参加者たちが、①科学で世界に貢献するという使命感をもつこと、②将来、科学技術研究における国際的ネットワークの基盤を構築すること、③将来、国際社会で活躍する科学者・技術者としての夢を膨らませることを目的とし、また、参加校においては、相互の連携を強め、各校の科学教育の発展に寄与することを目的として、2003 年にスタートし、今年で 22 回目の開催。

2. 開催に至る経緯

本校は、2002 年度より 23 年間連続、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受け、スーパーサイエンス (SS) コースの生徒を中心に、新しい科学教育に取り組んでいる。最大の特徴は、探究型学習スタイルを教育の重要な柱とし、全員に課題研究 (自ら課題を設定して研究を行い、解決に取り組む。生徒たちは全員、最終的には卒業研究としてレポートを作成する) を課している点である。

2003 年、課題研究の成果を発表する高校生模擬学会を計画していたところ、オーストラリアの学校から参加希望があり、第 1 回目の国際フェアの開催となった。初年度は、海外校 1 校、生徒 8 人、国内校 2 校だけの小さな企画としてスタートしたが、以降、その趣旨に賛同した海外のトップ校からの参加が毎年増え、現在の規模に至る。

3. 『Japan Super Science Fair』の特徴

- (1) 毎年、海外から 30 校程度が参加。ほとんどが各国・地域のトップの科学高校(※)。
- (2) 研究発表はコンペティションでなく、科学交流を目的にしている。将来に向けて意識を高め、ネットワークを築くことが目的であり、研究内容に優劣はつけない。
- (3) 使用言語はすべて英語。期間中、海外参加者のアテンドは本校生徒が行う。
- (4) 企画・運営は本校の生徒が実行委員会を組織して中心に行う。
- (5) 大学教員やグローバル企業の協力を得て、最先端の科学技術に触れることができる。
- (6) 参加教員全員で生徒全員を教育する意識を共有し、教員間の強いネットワークを築いている。
- (7) 開催後も生徒同士の交流は続いている。

※ 参加校:海外からは Korea Science Academy of KAIST (韓国) / Mahidol Wittayanusorn School (タイ) / NUS High School of Mathematics and Science (シンガポール) などの世界的にも有名な英才理数教育重点校をはじめ、アジア (中国、インド、台湾、フィリピン、等)、ヨーロッパ (UK、オランダ等)、アメリカ (アメリカ、カナダ)、オセアニア (オーストラリア) からの参加を得て開催。

4. 2024 年度の概要と主な取組

- (1) 日時 2024 年 11 月 2 日 (土) ~ 11 月 6 日 (水)
- (2) 場所 立命館中学校・高等学校 (京都府長岡京市)
立命館大学大阪いばらきキャンパス (大阪府茨木市) 他、京都市内での校外学習
- (3) 参加者内訳

	参加国・地域数	参加校数 (校)	生徒数 (人)	教員数 (人)
海外	20	34	約 130	約 60
国内	1	12	約 30	約 20
立命館		1	約 100	—
計	21	47	約 260	約 80

(4) 全体スケジュール

- 11月2日(土) 開会式
大阪いばらきキャンパスにて情報理工学部研究室見学
Science Discussion(科学のテーマによるディスカッション)
国際科学教育フォーラム(教員企画)
- 11月3日(日) Science Project Presentation(科学研究発表・・・各国の高校生による発表と質疑)
Special Lecture(科学講義・・・先端科学の講義)
Science Showdown(グループによる科学ワークショップ)
- 11月4日(月) Project Poster Exhibition(ポスターセッション・・・各国の高校生の研究のポスター発表)
Science Event(科学交流企画)
Cultural Exchange Event(文化交流)
- 11月5日(火) Science Talk(科学講義・・・先端科学の講義)
校外研修
- 11月6日(水) Science Zone(国際グループによる課題解決型ワークショップ、発表)
Cultural Performance(文化発表)
閉会式
Farewell 企画

※詳細スケジュールについては添付スケジュール参照

(5) 開会式 詳細

日時：2024年11月2日(土) 10:00 ~ 11:20

会場：立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC) B棟2階 グランドホール

スケジュール：

- 10:00 開始、吹奏楽部演奏
10:05 開会宣言
10:15 JSSF 実行委員長より挨拶
10:20 立命館高等学校東谷校長より挨拶
仲谷総長より挨拶
10:30 ダンス部による演技
10:35 来賓挨拶(文部科学省、科学技術振興機構、長岡京市長)
10:50 学校紹介
11:05 各プログラム・運営チームの取組紹介
11:15 閉会挨拶
11:20 終了

※スケジュールは現時点での予定であり変更になる可能性がある。



(6) 主な企画内容

➤ Science Discussion (サイエンス ディスカッション)

国際色豊かなグループメンバーで議論を行う。グループごとに導いた結論を1枚のポスターにまとめて発表する。



➤ Science Project Presentation (科学研究口頭発表)

生徒の科学研究発表。各校代表発表1本とし、44本の発表が行われる。研究には優劣はつけず、将来、より高い研究を目指すための交流とする。参加校の先生方にコメンテーターとして参加していただき、質疑応答も行う。



➤ Science Showdown

グループメンバーでサイエンス課題を競い合う。



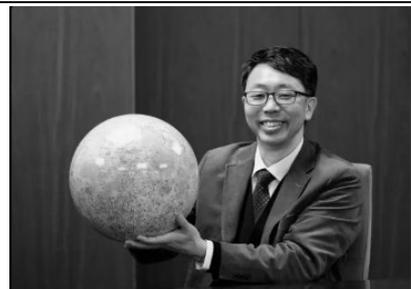
➤ Project Poster Exhibition (ポスターセッション)

102本の科学研究発表のポスター発表を使う。各自の研究の大切な部分を個々に話し合える機会となる重要な取組。発表者と近い位置で、有益なディスカッションを行うことができる。



➤ Special Lecture (記念講演)

立命館大学宇宙地球探査研究センター (ESEC) の佐伯和人センター長による記念講演「Unveiling the Greatest and Latest Mysteries on Lunar Science」



➤ Science Talk (サイエンストーク)

Science Talk では研究者の方々からの興味深い科学の講座を予定している。参加者は希望に沿った講座に参加し、科学の知識を深める。



➤ Science Zone (サイエンスゾーン)

数か所の Zone に分かれ、各 Zone では提示された課題を数名のグループによって解決し、その結果を競いあう。それぞれのグループは様々な国の高校生から構成され、彼らが近い将来に経験する国際協働の模擬体験を行う。



➤ Cultural Performance (文化発表)

参加者が各国の文化を発表しあい、お互いの国の文化を知る。将来、協働する際に大きな影響を与える機会になる。



➤ 国際科学教育フォーラム(教員向け企画)

世界のトップ科学校のカリキュラムや特徴的な教育方法を多くの日本の教員の方に知ってもらいたいと考え、フォーラムを開催する。それぞれの学校からの講演は英語で行われるが、同時通訳を準備し、日本語で聴いていただけるように計画している。

日時：11月2日(土) 16時～18時

会場：立命館大学大阪いばらきキャンパス
コロキウム(B棟2階)



